

関西学院大学における国連グローバル・コンパクトに関する取組について

1. 国連グローバル・コンパクトの10原則に関する取組

(1)SDGs 推進本部の活動（原則1～原則10）

本学は国連が掲げた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するため、2019年4月にSDGs推進本部を設置しました。設置にあたっては「関西学院大学SDGs宣言」を採択し、この理念を具現化するための施策の実施について、同推進本部が中心となって教育、研究、経営部門と緊密に連携しつつ進めています。この取組はグローバル・コンパクトの10原則（人権・労働・環境・腐敗防止）とも連動しており、「関西学院SDGs宣言」に基づいた方針策定、現状に関する検証・マッピング等を実施・推進しています。

（サイトリンク）<https://kgc2039.jp/sdgs/>

【関西学院大学SDGs宣言（参考）】

1. 関西学院大学は、そのミッション「思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育む」を実践しながら、「世界を変えるための17の目標」である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、教育、研究、経営に代表される大学の営み全体を通じて貢献する。関西学院大学の学生、教員、職員、同窓は、一人ひとりの役割においてSDGsに貢献することを強く意識する。
2. 関西学院大学は、アジアで初めての国連ボランティア計画（UNV）との協定に基づいた学生の途上国への派遣、日本で初めて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と連携した難民学生対象の入試制度の導入や、高大接続から大学院教育までを通貫した「国際機関へのゲートウェイ」構築に取り組む等、国連と連携した教育プログラムについては日本をリードしてきた大学である。これらの教育プログラムの継続・発展により、SDGsの推進をリードする人材育成にいつそう邁進していく。
3. 関西学院大学は、SDGs推進においても「国際性豊かな学術交流の母港 “Global Academic Port”」となることをめざし、国際機関や協定大学、そして地域社会との協働を積極的に展開する。

(2)神戸三田キャンパスの学生によるサステイナブルなオリジナルマイボトル開発・普及（原則7、原則8）

2021年4月8日、学生のビジネスマインド醸成を目的とする新たな学びの場として、神戸三田キャンパス（KSC）内アカデミックコモンズに「BiZCAFE」をオープンしました。このBiZCAFEでは、株式会社スノーピークと本学が共同開発した「KSCオリジナルマイボトル」を持参した学生に対し、コーヒーや紅茶等の飲料を無料で提供するもので、オープン初日は520人が利用。同時に、キャンパス内のペットボトル10万本を削減するサステナブルキャンパスへの取組み「KSC 100,000 Plastic bottles Reduction」もスタートしました。KSCから出るペットボトルごみは年間270,000本（一人あたり約45本）のところ、マイボトルの活用で100,000本の削減を目標としてオリジナルマイボトルの普及推進を行っています。

(3)2021年度（第9回）関学レインボーウィーク「PRIDE」の開催（原則1、原則2）

1. パネル展

教職員からのメッセージ、いのちリスペクト、過去のWeb調査の結果概要などのパネル展示を実施しました。

日時：5月10日（月）～5月21日（金）

場所：西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館1階エントランスホール
西宮聖和キャンパス 2号館ラーニングコモンズ「リプラ」

神戸三田キャンパス II 号館 102 号教室前、IV 号館 401 号教室前、VI 号館 201 号教室前、
アカデミックコモンズ 1 階インフォメーションホール

2. 関学生 10000 人に聞く！！ジェンダー意識調査

「LGBTQ+」に関して学生からの意見・経験を調査しました。

ポスター式 Yes No アンケート：5 月 17 日（月）～5 月 21 日（金）@パネル展

Google Form アンケート ：5 月 10 日（月）～5 月 21 日（金）

3. LGBTQ+についてもっと知ろう！

レインボーフラッグを構成する 6 色に合わせて 6 種類のポスターを作成し、食堂や学内の掲示板に貼付・掲示しました。

日時・場所：5 月 10 日（月）～5 月 21 日（金）@各キャンパス



4. LGBT 関連図書の展示

日 時：5 月 10 日（月）～5 月 28 日（金）

場 所：西宮上ヶ原・西宮聖和・神戸三田キャンパス大学図書館、千里国際キャンパス図書館

5. 映画上映会&ミニ解説

X ジェンダー会員制自助サークル label X 副代表 諏訪崎 龍 氏をお招きし、映画上映会とミニ解説を実施しました。

日 時：5 月 18 日（火）17 時 10 分～19 時

場 所：西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール

タイトル：『ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき～空と木の実の 9 年間～』（84 分）

トークテーマ：「性同一性障害（GID）を取り巻く現状と X ジェンダーについて」

講 師：諏訪崎 龍 氏（X ジェンダー会員制自助サークル label X 副代表）

6. パネルディスカッション「当事者の座談会」

当事者の学生等が登壇し、さまざまなテーマでパネルディスカッションを実施しました。

日時・開催方法：5 月 19 日（水）20 時～ Zoom

7. 交流会

当事者の方やそうでなくても、自分の性のあり方や性的指向に迷っている方などが集まり、オンライン上で交流会を実施しました。

日時・開催方法：5 月 20 日（木）20 時～ Zoom

twitter @kg_rainbowweek

8. 映画上映会『カランコエの花』

オンラインで映画視聴会を開催しました。

視聴期間：5 月 20 日（木）～5 月 22 日（土）

9. 公開シンポジウム「誰一人取り残さないために～SDGs と多様性尊重の取り組み～」

関西学院の多様性尊重の取り組みを紹介するとともに、先進的な取り組みをされている企業や大学の事例を紹介いただき、SDGs の観点からこれからの多様性尊重のあり方を議論しました。

日 時：5月21日（金）13時～15時

場 所：西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂・Zoom ビデオウェビナー

登壇者：村田 治 関西学院大学 学長
柳屋 考安 関西学院ダイバーシティ推進本部長・常任理事
望月 康恵 関西学院大学人権教育研究室 室長
垣内 俊哉 株式会社ミライロ 代表取締役社長
下田 啓 早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター長

主 催：関西学院大学

共 催：関西学院大学人権教育研究室

協 賛：関西学院ダイバーシティ推進本部、関西学院大学 SDGs 推進本部

後 援：西宮市

10. 多様な性を祝う集いーともに祈る

日 時：5月21日（金）17時20分～18時20分

場 所：西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂
Zoom

(4) ジェンダーに基づく暴力の撤廃に向けて「Orange KG」キャンペーン（原則1、原則2）

11月25日は国連が定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」。この日から12月10日の世界人権デーまでの16日間、世界で展開されるジェンダーに基づく暴力撤廃に向けたキャンペーン「Orange the world 2021」に合わせて、関西学院大学の学生団体「HeForShe KG」と関西学院大学YWCAが「Orange KG」に取り組みました。期間中にはデートDVや避妊について考える講演会やセミナー、交流会を実施しました。

この暴力撤廃のキャンペーンのテーマは、国連女性機関（UN Women）日本事務所が中心に呼びかけた「世界をオレンジ色に：今すぐ女性に対する暴力を終わらせよう！」。これに呼応して国連のジェンダー平等ムーブメント「HeForShe」を推進しようと活動する学生団体「HeForShe KG」が関学YWCAとともに学生に呼びかけました。



◆オンライン講演会

「すべてのジェンダーとセクシュアリティの人に知って欲しいデートDVと避妊」

12月5日（日）18:00～19:30

講師：NPO法人「ピルコン」代表 染矢明日香さん

中高生などの若者を対象とする性教育講演やコンテンツ制作、保護者や教育関係者向けの性教育講座、政策提言を行っている染矢さんが、若い人にも身近なデートDVを取り上げ、全てのジェンダーとセクシュアリティの人が受けうるデートDVを切り口に、避妊の重要性や日本の性教育の問題点などについて講演しました。

主催：関学YWCA、後援：UN Women 日本事務所

◆オンラインセミナー

『あなたは悪くない』と伝えよう～デートDVの傍観者にならないために～

12月6日(月) 20:30～22:30

講師：三輪敦子 教授(元国連女性開発基金<現 UN Women>アジア太平洋地域事務所プログラム担当
官、アジア・太平洋人権情報センター<ヒューライツ大阪>所長)

「友人がデートDVを受けていたら？」として、デートDVの傍観者にならないためにはどうしたら良いかを一緒に考える。

主催：HeForShe KG

◆HeForShe KG・関西学院大学YWCA 合同企画：オンライン交流会

ジェンダーに基づく暴力について HeForShe KG・関西学院大学YWCA メンバーと自由に話し合う交流会を企画・実施しました。

日 時：12月6日～12月10日の21時～22時

場 所：Zoomによるオンライン開催

(5)人権問題研修会の開催(原則1、原則2)

本学では、1948年に国連で採択された世界人権宣言の精神に基づき、1995年4月に人権教育研究室を設置し、人権教育・研究活動の整備を行ってきました。「人権」の立場からあらゆる差別の問題の解消を目指して、研究誌『関西学院大学 人権研究』や『KG 人権ブックレット』の発行、定例研究会の開催および人権教育科目の開講や、毎年春学期と秋学期に開催される人権問題講演会や人権問題についての啓発プログラムの企画を行っています。

直近2年間に開催した人権問題講演会は以下のとおりです。本講演会の開催により、参加した本学教職員および学生の人権意識を高めると共に、共生・多様性への理解を涵養しました。

【人権問題講演会】

■ 2020年度 秋季開催

1. 日 時：2020年10月8日
場 所：Zoom ビデオウェビナー
講 師：田中昭全 氏(アーティスト)
題 目：「ぼくらが同性婚を求める理由。」
2. 日 時：2020年11月24日
場 所：Zoom ビデオウェビナー
講 師：四本裕子 氏(東京大学 大学院総合文化研究科 准教授)
題 目：「脳科学と性差～脳の男女差について科学的に考える」
3. 日 時：2020年12月16日
場 所：Zoom ビデオウェビナー
講 師：斉藤容子 氏(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授)
題 目：「原発事故による広域避難と『人間の復興』」

■ 2021年度 春季開催

1. 日 時：2021年6月9日(水) 13時20分～15時00分
場 所：Zoom ビデオウェビナー
講 師：星加 良司 氏(東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター)
題 目：「パラリンピックを考える」(仮題)

■ 2021年度 秋季開催

1. 日 時：2021年10月28日(木) 13時20分～15時00分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス および Zoom によるオンライン開催
題 目：「ミャンマーのために私たちがいまできること」
講 師：テュアン シャンカイ 氏
2. 日 時：2021年11月30日(火) 13時20分～15時00分

場 所：西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペルおよび Zoom によるオンライン開催
題 目：「災害後のあなたに起こること」
講 師：古部 真由美 氏（まるっと西日本）

2. 国連グローバル・コンパクトとその原則の推進活動

(1) 国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センターの活動および授業との連携

本学は 2014 年度に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択された「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」の一環として、「国連・国際機関へのゲートウェイ」構想を掲げ、2015 年 10 月 24 日に「国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センター」を設置しました。本センターは、国連グローバル・コンパクト及び国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのメンバーとして、ネットワークとの連携を強化し、その活動の展開を主に西日本において支援することを目的としています。

この一環として、2020 年度および 2021 年度の大学院副専攻「国連・外交コース」および学部副専攻「国連・外交プログラム」の開講授業の中で、グローバル・コンパクトの人権・労働・環境・腐敗防止の各トピックについて学ぶ機会を提供しました。

さらに 2021 年度には、明石康元国連事務次長を塾長とした全国の高校生対象プログラム「関西学院世界市民明石塾」を新型コロナウイルス感染症対策の観点から初のオンライン開催にて開講しました。2021 年度は「地球の未来」を主題に、SDGs の Goal13「気候変動に具体的な対策を」、Goal14「海の豊かさを守ろう」、Goal15「陸の豊かさを守ろう」を中心に開催。明石康塾長による基調講演や、国連人道問題調整事務所（OCHA）の吉田明子所長、一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンの坂野晶代表理事、前駐日カナダ大使のマッケンジー クラグストン・関西学院大学教授等による各セッションを通して人権問題・環境問題などについての理解を深めました。



明石康塾長



OCHA 神戸事務所 吉田明子所長





(2) グローバル・コンパクトに関するトピックについての学びの機会提供

①オンライン国際交流プログラム”Water challenge”の開催

生命環境学部にて、2021年2月27日から3月13日まで、4カ国7大学の教員と学生が参加するオンライン国際交流プログラム”Water challenge”を開催しました。それぞれの地域が抱える水問題を紹介し、その解決策を提案するもので、関西学院大学の他にインドのアミティ大学、ビヤニ大学、インドネシアのウダヤナ大学、パジャジャラン大学、台湾の国立台湾師範大学、台湾東海大学から約100名が参加し、連日活発な議論が展開されました。



(3)「日中韓ラウンドテーブル」への学生派遣

2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣実績無し。

以上